明治廿五年十一月廿三日印刷
明治廿五年十二月廿四日出版

(非賣品)

婦人衛生會雜誌

第參拾七號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生會雜誌
第參拾七號
目次

講演

◎實扶垤里亞に就て　醫學士　岡田和一郎君
◎人乳に就て　醫學士　伊東祐彥君
◎浴場行日誌（前號ノ續）　醫學博士　佐々木政吉君

衛生叢談

◎酒と烟草　たなかの翁

雜錄

◎赤痢治療法
◎衛生上統計の必要
◎衛生局長任命
◎傳染病研究所
◎虎列剌は郵便に傳らす
◎禽獸鳥魚の齡
◎輝藥
◎護灰繃帶
◎衛生の進步
◎醫科大學の產科往診

本會錄事
會告數件

◎本會規則摘要

◎本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持する方法を講究し衛生上の智識を開き隨て社會全般の幸福を增進するにあり

◎本會は每月一回第一土曜日集會を開き諸大家を聘し講義演說を囑し會員は勿論同親族知己の傍聽を許し且之を筆記して每月會員に頒つ

◎本會會員を分ち終身特別通常學生男子賛成員とす

◎終身會員は入會の節金拾圓以上を収むる者特別會員は每月貳拾錢以上通常會員は同拾錢學生其他事故ある者は會費五錢とし男子賛成員は每月拾錢を納むる者とす

◎入會せんとする者は何人を論せす族籍住所姓名を記し下谷練塀町四十三番地本會事務所へ御申込あるべし

下谷區練塀町四十三番地
大日本婦人衛生會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生會雜誌第參拾七號
（明治二十五年十二月二十三日）

講演

◎實扶垤里亞に就て

醫學士　岡田和一郎君

實扶垤里の治療は今日の所にては尙は醫者の方で甚だ六ケ敷いとして居ります。それゆへ成るべく此病に罹らぬやうに注意するのが肝心で有ります。第一に實扶丁里は傳染病でありますから病人に近づかぬ様に致します。此傳染するに就ては或は空氣より傳へるとも云ひ、或は直接傳染に限るとも云ふて、其傳える方法に就ては、種々議論も有りますが、兎に角ドチラにしても患者に近かぬ様にすれば自から病毒に遠かる次第でありますから患者に近づかぬ様に致すのが何より安全であります。

第二に傳染するのは、前に申上げました通りに、必ず傷所が有るから、病毒が這入るので、傷所がなければ先づ大低は恐るゝに足らない様であります然るに只今實扶垤里の最も多く附くのは咽頭部の扁桃腺だと申しましたが此場合にも亦た病氣の起る前には必ず風を冒いて居るとか、咽喉が腫れて居るとか、咳嗽が出るとか、咽喉に爛れが有るとか色々病毒の這入るべき損所かあッたからであります其他或は乳首、其他皮膚の部分から起つて來るのは、嚙みつかれた傷が有り抔すると、ソコから起つて來るので有ります、故に若し小兒が氣管支加答兒、咽喉頭加答兒になりましたならば、實扶丁里が有りはしないかといふ考へを起して、咽喉を檢査して手當をしなければならぬ。又皮膚に聊かの傷なりとも付きましたならばよし傷は左程恐るゝに足らざるにもせよ、必ず

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

能く消毒して毒の這入らぬやうに繃帶を掛けて置かねばなりませぬ。咽喉が痛みましたならば、能く洗ッて病毒の入らぬやうに致さねばならぬ。

ソレから一家内に病人が起りましたならば、他の健康の小兒にも必ず含嗽をさせなければなりません。其含嗽をさせますにも、醫者から消毒藥即ち病毒を殺す丈けの頼みある藥を貰ふて咽喉を洗はせるのが必要で有ります。

次に病人に對するの處置はドウしたら宜しいか、前にも申す如く、實扶丁里は非常に恐るべき病氣でありますが、早く氣が附いて治療を施せば殆ンド恐るゝに足らない。私共は數ば實扶丁里の患者を扱ふて居りますが、扁桃腺に止まつて居る中に、氣が附いて治療を施せば大概死なせる樣な事はない。本年になりましてから、二十人餘りの該患者を扱ひましたが、其内十何人は極く容易き療法で治ましたが、後の十何人は咽喉を切りまして、治療しましたが、これは最早治療の遲れたものでしたから多くは、死て仕まいました。ソレ故兒扶丁里で有ると云ふことを早く醫者に發見さるれば、病者に取ても大變に仕合せであります、若し咽喉に病氣があつたならば、一刻も早く醫師に見せて實扶丁里の鑑定をして貰ふが宜しい、而して若し醫者が兒扶丁里と診定したならば、其病人の傍に附けて置く品物は決してソコから外に出しては往けませぬ。夜着衣類の類は、最も嚴重にソコに計り置て、外の小兒に用ゐてはなりませぬ。癒た上も醫者の命令に從て燒き捨てよと申したならば、惜まずに燒き捨てねばならぬ。消毒所に持ち出して消毒せよと云ふたならば、充分に消毒せねばなりませぬ、扨て醫師が治療を施すに當て、場合に依ては氣管切開をしなければなりませぬと云ふた時には、(氣管切開とは咽喉に穴を開けソコより息

を通はするを云ふ、病勢重き時は斯くせされば治療なしがたきなり）之を承諾することを躊躇してはならぬ。何故かと云ふに、初めに申上げませんでしたが、此實扶丁里は年齢と關係致します。此病氣は年齢の少い者よりは長じた者に多い、或人の統計表に依れば、患者百人中にて生後一歳未滿の者は二、三……一歳より二歳の者は五、三…二歳から三歳の者が八、四……四歳から五歳の者及び六歳の者は共に十と段々に梯子を登るやうに極くの小兒には少くして長ずるに從て多くなるので有ります。又死亡數を年齢に因て比較して見まするに、患者百人中にて死する者一歳以下は五八、二人、一歳から五才が四六、四人五歳から十歳が二二、六人十歳から二十歳が七、八人二十歳以上四、二人と云ふ如く斯う云ふ反對の結果が出て參ります。即ち此病に罹るものは年齢の長せしもの程多くて、而して死するものは年齢の少いもの程多いのでありますо斯う云ふ成績はドウして出るかと云ふに、年齢の少長に因て治療の行き屆くと行き屆き兼ぬるとに外ならない。生れ立ての小兒が此病に罹つては無論六ケ敷い。若しソレが喉頭の方に播がつて氣管切開を致すにしても其治療に堪ゑない、よし堪へても小兒が小さい爲めに、治療の經過が思ふ樣に往かない、ソレ故一歳前後の小兒に氣管切開を施しても割合に治る者が少いソレに反して年齢の長じて居るものは、塲合に依て氣管切開を致しても、管を善い工合に差して置けば、良い酸素を吸收して參りますから、將に心臟が衰へて死なんとする處でも、ソレが爲め却て藥になり、療治も好く出來ます。私も此三年間に四五十名程に氣管切開を致しましたが、年齢の一二歳なるものは、致した丈け皆死でしまいましたが、四五歳以上のものなれば、數名の醫師の見離したものも、氣管切開を

して助ッた者も多くあります。故に多くの患者は氣管切開にて助る者と思はれます。ソレ故醫者が助かるか助からぬか知れぬが、氣管切開をした方が宜いと云ふたならバ、家族の者はソレに從はなければなりませぬ、のどに穴を開けるのは、甚だ慘酷の樣にも思はれますが、病者に取ては却て難有ので御座います。醫者が氣管切開を致せば、僅か二三分にして充分に治療も施せますし、病者も大變に安樂になつて、事によれば一命を拾ふ事も出來る。不幸にして生命は助からぬにしても、苦痛を去る点丈けでも、治療の目的を達するので、利益が有るので御座います、けれども前に陳ぶるが如く實扶丁里は治療の六ケ敷い病氣でありますから、衛生會の皆樣は豫防と云ふ事に重きを措かれん事を切に希望に堪ゑないのであります。

既に近來醫學者の間に於ても、傳染病研究が盛になつて、「バチルレン」をいろ〳〵に利用してソレからこしらゑたものを他動物に注射し、或は飲せ杯して試みて居ります、丁度「ジエンチル」が種痘法を發明して天然痘の禍を防ぐ樣に實扶丁里亞で有らうが、窒扶斯で有らうが、傳染病に罹らぬやうに致したいと、歐羅巴に於ても申して居りますし、又本邦に於ても正に研究致して居りますから、遠からん中には枕を高ふして睡る事の出來るやうな好結果を得るやも知れませぬが、併し其時期の到る未た何は遠いことですからソレ迄の所能く注意しなければならぬと云ふ事を一言申上げたのでございます。

◎人乳に就て

醫學士　伊東祐彦君

私は今日此御席に出まする積りも御座いませんでしたが、先程急に丹波先生より何にか御話しを致す

やうにとの御依賴ゆへ、遂に爰に出て御咄しをする事になりました。然し斯の如き次第で御座いますから格別調べた事もなく、又之を御話し致さうと思ふ事もないので御座いますが、私は當時大學の小兒科に居ります故、常に小兒科に於て見聞した事や、弘田先生のお話に聞きました事に就て些か御話し仕樣と思ひます。問題は玆に揭げて御座います通り牛乳の事に就て御咄しを致します。

此牛乳の中にも生の牛乳と「コンデンスミルク」との二た通りが有ります。此二た通りは御承知の通り人工營養品として用るので御座います、自然營養と云ふは御承知の人間の乳で小兒を營養することを申します。自然營養法と人工營養法とドチラが優ッて居るかと云ふに、問ふまでもなく自然營養即ち人間の乳で小兒を育てるのが一番宜しう御座います。日本で、主に自然營養法が行はれて居りますが、歐羅巴では主に人工營養法即ち牛乳で小兒を育てるとが流行して居ります、其西洋には惡ひ習慣が有るさうで御座います。少しく身代でも能くなつて來ると自身の乳で子供を育てるのを恥つるやうな風が有て、召仕にでも抱しおる事を名譽の樣に思ッて居る、殊に夜會舞踏會杯へも度々出なければなりませぬから、自然自身の乳を飮ませて居られない樣な譯も有るので御座いませうが、多く外見の爲めに牛乳で育てると云ふ事が、得意になつて居るさうで御座います。私は是れは甚だ惡い習慣だらうと思ひます、併し日本にはサウ云ふ習慣が少ない樣で御座いますから、甚だ幸で御座います、其牛乳で育てる結果はドウであるかと云ふに、先づ日本の小兒の死亡數と歐羅巴の小兒の死亡數とを比較して見ますると、歐羅巴の即ち牛乳で育てた小兒は余程余計死亡致します、ソレは牛乳で育てるより起る結果で御座いま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して、統計上に依りましても學理上に依りましても無論人間の乳で育てるのが宜しい、人間の乳の中でも母親の乳が一番宜しい、母の乳が不良だとか或は病氣に罹ッたとか、已むを得ざる時は乳母の乳で育てるのでありますが、其乳母も良い乳母を得ることの出來なかつた時に、始めて人工營養法を行ひます。人工營養、自然營養の事に就ては是れまで度々演說も御聽きになりましたろうし、又雜誌等でも御讀みになつた事も御座いませうから、其委しい事は問題外になります故今日は申しませぬ。序に茲に御斷りをして置きますが、今日牛乳の御話しをするに就きましても、大人が飲でドウであると云ふ事よりは、寧ろ子供を育てるにはドウ云ふ影響が有るかと云ふ事を主に御咄し仕樣と思ひます、最初に生の牛乳の事に就て申上げます。

乳は乳を分泌するからだの壯健で有るか、壯健で無いかに依て分泌する所の乳の成分が全く違ひます、又乳を出すからだの營養品に依て違ひます、即ち食物に依て乳の成分が異ッて參ります、ソレは人間とても牛とても同じ事であります。

ソレ故若しも病氣の牛から搾た所の乳を飲せまするか、或は惡い食物を喰べて居る所の牛から取ッた乳をば子供に飲せまする時は、其子供は直ぐに消化器の病氣を起します、子供の消化器病と云ふものは御承知の如く、大人の消化器病とは大變に違ひが有ります、小兒の消化器病程恐ろしいものは御座いませぬ。其乳の良らぬ上に、乳の成分の外に何ぞ他の物が混ずる時には、一層消化器の病ひに罹り易う御座います。ソレでございますから子供に與へます所の牛乳は、大人の用ゐます乳よりは一層嚴重に檢査しなければならぬ。併し每日配達致す乳を一々試驗する事も出來ませぬ、且つ此試驗は中々手數の懸る事

で誰れにでも、容易く試みると云ふ譯には參りませぬ、夫れよりも寧ろ其乳を出すところの源を嚴重に調べるのが何により近道だろうと思ひます。又公衆の爲めにも源を調べますれば、其乳を飲むところの人に廣く利益を與へますから、源を調べるのが何より宜敷う御座います。

其源と申すのは即ち乳を搾り取る所の牛は、健康であるか、或は病ひにでも罹ッて居りはせぬかと云ふことを調べなければなりませぬ病氣に罹ッて居ります牛なれば、無論警察の方で撿査して、少しでも病氣の萌しあるものは殺してしまいますから宜ろしう御座いますが、食物の良否に至ッては余程取り締りが六ケ敷う御座います。牛の飼ひ方に二た通りあります、一ッは生草で飼ひ、一ッは穀物或は枯草等總べて青くない乾草で飼ひます、是れは何ちらが善いかと申ものに、枯草と穀物とで飼ふ所が極く善い乳を出します、生草で飼うたる牛の乳は小兒に與へることは出來ませぬ、其事は西洋で永年研究して小兒に兩方の乳を與へて見た實驗上から、ドウ云ふ食物を牛に與へれば乳が善いか惡いとか云ふことを明らめたので、決して偶然の事ではないので御座います。西洋の或國では生草を牛に與へることを法律で禁じて置く所があります。其上に尙念を入れて搾ッた乳を配達する前に試驗を致します、夫れでも未だ目を竊んで成分外の物を入れて配達するものがありますから、警察官が怪しいと認めた時には配達する途中で驗査し、若し乳が惡いときは直ちに往來に棄てゝ仕舞います。夫故西洋では朝早く市中を散歩して見ますると、往來に牛乳が川の樣に流れて居ることが有るそうで御座います、コウ云ふ工合に牛乳取締りが嚴重になッて居りますから、西洋及亞米利加の牛乳は至ッて善良のものであります、コッ云ふ牛

乳なれば假令小兒を育てましても先づ危きことはないと云ッて宜ろしい。

所で日本の牛乳はドウであるかと云ふに、西洋とは全く反對で御座います、第一警察の取締が甚だ緩で御座います、食物などの制限は、牛の食物はドウ云ふ物を與へて置くかと云ふに、大概生まの草を與へて居る、現に牛を飼ッて居る所にイッて見ますると青い草ばかり貯へてあッて枯れ草は少しも御座いませぬ、夫れから搾ッた乳も其儘なれば未だ宜いが、量を多くするために種々の物を混合致します、牛乳に多く交せますものは、砂糖、麥、及麥を煎じたる汁、血液より取る血漿等を交せるそうで御座います、警察でも種々の方法をもつて、是等の牛乳の試驗を致しまして大抵のは顯れまするが、近頃は又一種殊なつたる混合物を考かへ出したそうで御座います。夫れは豆腐の滓の絞り汁を牛乳の中に入れる、夫れには恰んど困るそうで御座います、警察に出ている或る化學者の話で御座いますが毎日牛乳の檢査をするに、豆腐の滓の絞り汁の這入ッて居るのは中々分りません、顯微鏡で見まして漸く植物性纖維を發見する位のことで、夫れも這入ッて居る時と居らぬ時とありますから、這入つて居ると解りつゝ見逃して仕舞ふことなども度々あるそうで、警察でも殆んど之に困ッて居るのだそうで御座います、コウ云ふ狡猾なことをして、惡るい牛乳を配達して居りますから、日本の牛乳と云ふものは少しも信用することは出來ませぬ。

斯樣なる不良の牛乳を小兒に與へましたならば、忽まち消化器に病を起します、斯う申すと牛乳屋を誹るようで氣の毒なる譯で御座いますが、事實で御座いますから仕方がない、且此事は牛乳屋の罪とばかりは言へない、私しは寧ろ買ふ人の方に余程罪が深

いだらうと思ひます、ナゼかと云ふに日本では近來何んに係はらず、品の善惡を問はず、廉價の物を爭ふて買ふ樣な傾きが有ります、牛乳も矢張同じことで少しでも安い所があると、人々爭ふて其方から買ひます、そうすると他の牛乳屋も自分の方の得意が少くなりますから、仕方なく價を安くする樣になります、此節府下の牛乳屋は三錢から三錢五厘が通例で御座いますが甚しきは一錢六厘などゝ云ふ廉價の者も御座います、時として私共の牛乳には少しも交せ物もない、其代り價は四錢だなどゝ新聞などに廣告するものもありますが、矢張買ふ人が少く、とても永く續かないそうで御座います。

デ善い乳の絞り取れる樣な牛を飼ふには前申した通り穀物枯れ草で矢鱈の草を與へることは出來ません。夫れから牧場の衛生、小屋の建て方等總べて家畜衛生の法を完全にするには、非常に資金を要するのでありますから、之を計算して見ますれば、一合の牛乳を取るには、元が四錢以上かゝります、夫れ故之を鬻ぎまするにはドウしても五錢以上に賣らなくては計算が立たない、然るにドコの家でも安くなくては買はないから、牛乳屋の方でも止むを得ず、知りつゝ交せ物をするので御座います、夫故之れは牛乳屋の方で衛生上の利害を考へ、一致して直上げでも致したら宜しう御座いましやうが、先づ今の所では牛乳屋に夫れ程の勇氣もない樣で御座いますから、到底行はれないことであります。善良の牛乳を得ることの出來ない內は、小兒には生の牛乳は與へないようにするのが安心であらうと思ひます。併し之を大人が飲むには差支ありませぬ、何ぜなれば大人の腸胃は丈夫で御座いますから少し位ひ混合物があッても、砂糖麥汁等は格別害はない、又水を增してあるものは、澤山に呑めば滋養が取れますから差支へ

はありませぬが、三ヶ月以内の小兒の腸胃は、純粋なの乳の外は消化することは出來ない、少しでも違ッたものが腸胃に入ると忽ち腸胃加答兒を起します、又他に混合物はなくて水を割ッてあつてもいけない子供の腸胃は至ッて弱いもので御座いますから、量の成る丈け少ない滋養の多いものでなければ、迚も養ひにはなりませぬ、夫れ故に先以て日本の牛乳は小兒に與へることは出來ませぬ。

生まの牛乳を小兒に與へられぬとすれば、自然營養を爲し難きときは何んで小兒を育てれば宜かろうか、近頃「ヘルス」など丶云ふものが出來ましたが、私は未だ充分に信を置くことは出來ませぬ、只今小兒科に於て實驗をして居りますから、何れ試驗の上で御報告申すことに致しましやう、然らば生まの牛乳の代りに與へるものは何にが宜いかと云ふに「コンデンスミルク」の外は何にもありませぬ、「コンデンスミルク」は主に亞米利加から參へります、御承知の通り亞米利加は土地も廣ろう御座いますから、牧場なども廣く作られてあります、殊に穀物も澤山に出來て實に安く飼ふことが出來ますから、隨がつて質のよい牛乳が余程澤山に取れます、其餘ッたのを以て「コンデンスミルク」にするので御座いますから、亞米利加の「コンデンスミルク」は先づ善良のものと云ッてよろしい。

亞米利加から輸入致す「コンデンスミルク」にても、幾品もあります、亞米利加のみならず瑞西よりも參ります、近來は日本でも製造致します、衛生局で「コンスミルク」を分拆した表を持て參りました。

米國より參る人形印の「コンデンスミルク」と鷲印の「コンデンスミルク」とを比較して見ますると

田原氏コンデンスミルク分析表（藥學雜誌八十號）

製造所	商標	水分	脂肪	含窒物	乳糖	蔗糖	灰分
	鷲印 日本製	28,25	6,43	7,75	10,53	45,20	1,79
（林）	鷲印	27,20	6,30	9,28	12,21	43,05	1,96
三ノ輪	鷲印	29,54	7,75	6,83	6,26	47,38	2,21
村瀬	天狗印	28,91	5,85	8,05	8,68	47,47	2,04
牧田	無印	24,18	10,42	9,63	13,71	39,63	2,43
辻村	仝上	27,77	8,05	8,60	14,14	39,26	2,18
辻村	仝上	32,23	3,18	9,01	14,31	39,17	2,10
米國製	眞正鷲印	31,33	9,46	8,39	7,65	41,29	1,88
	瑞西製 ネスレル	24,63	9,86	8,40	12,45	42,57	2,09
	人形印 ワンノロメイス	31,25	4,75	8,22	9,84	44,14	1,80
	人形印 ワシンコノイス	35,58	0,22	8,77	10,60	42,84	2,61

人形印の「コンデンスミルク」は、百分中〇、二二（コンナのはバタを取ッたあとを、「コンテンスミルク」に製したるものではないかと疑はれます）眞正の鷲印の「コンデンスミルク」は百分中九、四六此他にも六といふのも七と云ふのも種々ありますが、〇と九との差あるを見ても、「コンデンスミルク」にも幾く通りもあるといふことが解ります、當時鷲印が一番余計輸入して居ります、特に分析表に依ッてもよいようで御座います、夫れなれば鷲印の「コンデンスミルク」を與へれば大丈夫かと云ふに之れも少しもアテにならぬので御座います。

ドウ云ふ譯かと云ふに贋物が澤山に御座います、現に表の內にも鷲印が三通りあります、鑵のまわりに鷲の印に、藍色の文字のある商標の樣なものが貼ッてありますが、其紙も一枚五厘で市中に賣ッて居る、之れも警察に出ている化學者に聞ましたので御

厘いますが、)五厘さへ出せば商標の紙も得られますから、惡い「コンデンスミルク」を詰め込んでもれを貼ッてあるのがイクラもあります)夫れ故單に鷲印のみでは少しもアテにする事が出來ませぬ、皆て小兒科に度々腸胃加答兒を起した小兒が參りました處が、鷲印の「コンデンスミルク」を飲ませて置いたそうで御座いますから、其コンデンスミルクを試撿して見ますると、果して中に膠の樣なる凝固りがあつたり、ザラ〳〵して居りましたり、之を湯に溶かして見ると、下に粉が沈みましたりして、本物の鷲印とは別物で御座ります、併し外から見ては同じ印しで少しも分りませぬから、初の中は同じ米國製の鷲印でドウして、斯樣に違ふかと私が密かに疑がッて居ッた、然るに其印は一枚五厘で賣ッて居ると云ふことを聞いて、初めて覺ることが出來ました夫れで御座いますから「コンデンスミルク」も少しも安心して用ゐることは出來ませぬ。

夫れで大學では、特に小兒科に於ては「コンデンスミルク」を澤山に用ゐますから、藥局に依賴しまして「コンデンスミルク」を一々罐の口をあけて、試驗の上撰び下げるように致して置きます、「コンデンスミルク」で腸胃加答兒を起し、ドウーでも善くならぬ小兒に、大學の「コンデンスミルク」を飲ませたので直ぐ其晩から腸胃加答兒が治つた例が幾らもあります。實に不可思議のように。成積が著るしう御座います、其代り大學で撰び下けます「コンデンスミルク」は、價が二割高くして有りまして、不良のものが有ッた時には返ゑすことにしてありますから、價は少々高くても、此「コンデンスミルク」を飲んで居るものに、消化器病を起したものは至ッて少なうございます、併し大學で撰び下げる「コンデンミルク」にても、矢張り亞米利加より來たのでございま

すから、强いて大學のを用ゐなければならぬと云ふことはありませぬが、市街に賣ッて居る品は保証が出來ませぬから、一々撿査した上で小兒に御與へなさらなければならぬといふことを、申し上げたいために今迄御清聽を煩わしたのでございます。

◎浴場行日誌　（前號の續）

醫學博士　佐々木政吉君

林間に二路を設け浴客の散歩逍遥に供し修繕又は清淨等を爲すには一年間に數千麻を費す青魚村株式會社之を負擔す之を支辨するには林木を拂ひ又は新材を賣り兼て「クールタキセ」（浴場費）より收入する所の額よりす。

浴客散歩の道には常に北方向を示すの標あり（文字或は矢の方向を以て）此整頓具備すること感ずるに堪へたり我邦に於て未だ之に及ばざるは人民の富度及ばざるに由るか或は協同興業の熱心に乏しきに原けるか或は出入相償はざるに由るか個々攫の如きことを企つるものあるも付て自己の財産なき投機を以て此本領となし終を全ふせざるに依るか青魚村株式會社の如き數十人の富有者より組織せらるゝを以て資本豊裕なるを以て從ッて其企業を全からしむるを得るなり獨語「クールハウス」とは療養の家と云ふ義なり今は其本來の意味を失ひ却て快樂を主とし奏樂舞踏玉突等凡て遊技の裝置を設くる所を稱するに至れり青魚村「クールハウス」は即ち海岸に在り前に大海を扣へ後に鬱林を負ふ所にして山海の眺望を縦にす季節に至れば一日の宿料十麻乃至十二麻半なり家の前に眺望所あり浴客開濶の氣を呼吸し談笑時を費すべし讀書室舞踏室、温浴場泥炭浴場等の設け備はれり青魚村株式會社に屬すへしリングスドルフの地價一「メーテル」平方十麻内外なりと

ヘルマン氏より聞けり。

青魚村の成立を按ずるに實に近時を去る遠からずとなす其創立は千八百十九年にして今を去る凡そ八十年前林務官ピユロー氏之を創立すと氏はゴーテン領及附屬の地にして海濱に至るまで擴布する山林の所有者なりき氏山林を賣却し兼ねて風景の佳なる所に家屋を建つるの地面を賣れり當初訪人至て稀なるも後忽ち增加せり蓋し天然の地勢と風景美秀之を致せるなり故に景色を愛するの士爭ふて山林海濱の靜閑を喜び都會繁劇の熱を洗ふに供するの別業を建つるに至れり其始めて此地に來りし者は詩人ウヰルバルト、アレキシス氏大臣カムプ氏教授クレンツ氏俳優エドワルド、デブリエント氏等なりき當時は只私有の小屋を以て浴場に供せしが千八百二十八年より始めて公衆一般の浴場となるに至れりヘーリングスドルフの名は千八百廿年に創まると之を聞く同年六月六日フリードリヒウヰルヘルム第三世陛下皇太子殿下と巡狩の途次此地に行幸あらせられたり陛下殊にピユロー氏の創企を喜び叡感斜ならず且此地の產物たる青魚を鹽漬となし他の地方に輸出するの企を賛同せられたり時にピ氏は新鮮の青魚を炙り陛下に供し奉りしに大に叡慮に協ひ陛下殊に勅語を賜はり此名產を賞せられしピ氏之に拜答せりピ氏は更に皇太子殿下に奏し此邑の名無きを以て殿下の御命名を願ひ奉りしに殿下は鮮魚の味美にして此地の名產たるの故を以て直ちに青魚村と名け給ひき是れ青魚村の名ある所以なりと。

斯くてゴーテン領地の所有者は常に變じたれども青魚村及近傍の森林は千八百七十二年青魚村株式會社の有に歸せしより爾來種々の改良を加へ今日の盛を致すに及べり就中伯爵ストルベルグ、ウエルニゲローデ氏及び衛生評定官ドクトルバルレルスタツ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ト氏等は與て大に力ありと云ふ洵にヘーリングスドルフの恩人と云ふべし。

近年街道及び林間の道路を改築し海濱に浴ふて八「キロメーテル」の散歩逍遙の道を布き水道瓦斯の裝置を設け療浴の客の爲に適當なる家屋を新築し同時に浴場を擴張し益々其規摸を大にせり更に「クールハウス」を增築して温浴を設け其他公園奏樂所散步場等を改修し前年の冬新に皇帝維廉橋を設け氣船の碇繫に便し橋上には食店及散歩場ありて浴客をして潮氣を呼吸せしむるの便に供す皆是れ青魚村株式會社の經營せし所なり。

浴場は六月中旬を以て始まり九月の末に終る

浴場に來るの人は「クールタキセ」を拂はさるべからず是れ歐州一般に行ふところなり今ヘーリングスドルフの「クールタキセ」を書せん亦以て「クールタキセ」の性質を知るに足らん。

「クールタキセ」浴客一般に課する(療養費)

第一章

プロイス王國政府の允設を受け「クールタキセ」の額を定むる左の如し。

第一項

浴場開始より終末まで及び六週間浴場に滯留するものは次の「クールタキセ」を拂ふべし

甲　一人六麻を拂ふべし

乙　四人以上の家族は二十四麻を拂ふべし

第二項

二週間を超へざるものは第一項の半額を拂ふべし

第二章

「クールタキセ」の收入は全浴場の清淨手入れ形容維持又は諸種の建物を作り浴客をして便宜を得せしむるの費に充つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

故に「クールタキセ」を以て一般の公園又は公衆の用に供する椅子等を設け兼ねて形容を保存し清潔、修繕等を爲す費に充つ所謂浴場一般費を浴客に課するものと知べし本日終日曇る間少雨あり午後五時「リンデンマンホテル」を發す「ショセセー」街道一直線なるを以て途中頗る倦眠せり六時二十分スキーチミユンドに達し再び「ホテル、チユ、ノール」に投ず黄昏海岸を徘徊し歸りて晩餐を喫し十時寢に就く。「ホテルリンデマン」の主管ヘルマン氏が懇切なる勞を謝せんがために「カノス」の「ボタン」を贈れり。

三月廿八日

午前八時三十分「ホテル」の馬車に乘じ停車場に着し九時廿分スウキーチミユンドを發しズルホウにて他の車に乘じ一片の麵包を喫し三時四十六分伯林「ステチーチル」停車場に着す車中聞けることありヘーリングスドルフは重に猶太人の赴く所なりと夫れより車を驅て「アンハルテル」停車場に至る時尙早し停車場の前なる割烹店に投じ晝食し五時三十分「ドレスデン」に向ふて發す九時四十六分同府に着す「ホラテ、ゲーリック」に投ず。

本日終日曇れり伯林、ドレスデンの間に於て電光閃々雷響轟々として疾風强雨滊窓を叩く聞く天文學者豫言に因れば本日大塊顚覆すべき日に當ると。

ドレスデンハザキセンの首府人口十五万あり「エルべ」河の兩岸に跨り歐洲美景都府の一なり此府の藏畫院は古代伊太利派の大家絶筆の名畫を網羅し頗る有名のものたりサキセン王居を玆に占む(以下次号)

衛生叢談

◎酒と煙草

たなかの翁

酒と煙草は養生に害のあるとは。知りながら。自分

勝手はつくものぞ。煙草は憂さをわすれ草。酒は愁ひのたまはゝき。酒なくて何んのれのれがさくらかな。ナドゝやたらに酒をかり。一ばい一ばいまた一杯。しだい〳〵に盃をまし。ついにはさけに醉ひつぶれ。たわい性根もあらばこそ。禮義も法もとりみだし。いくら飲みてもあとをひき。泣きつ笑つ、くだをまき。喧嘩口論大さわぎ。打つ、うたれつ、明日は又。なにも手につくことならず。金と時とをついやして。有德の人も貧となる。女はことにみぐるしや。口やかましく喋りたて、やさしき聲もたかくなり。外貌もへちまもあらばこそ。たわい性態なくなりて。果はゲロ〳〵厄介に。たれが見てさへ鼻つまみ。きたなしむさやと人々に。ゆびさし惡みそしられて。目口つかッて笑われる。末は身体をよわくなし。天死するも自業ぞや。されば自から謹みて。少年達は何さらに。露をもいとひて濡れぬよう。きびしう禁じて惡習に。ならわぬように心懸け給へかし。

酒を呑む人

「アゝ何んだか世間は數へ日でいそがしいが、此方は閑で居て根ッからつまらないことだ、ドウも斯う云ふ時には酒の顏をみて獨りたのしむに限るドレ〳〵買に往かう。

莨を飲む人

「アゝ素敵に外とはさわがしいが、ヒッソリとしているのは巳の家と隣りの明店ばかりだ、仕樣がねエーマアー一吹やらかさうかね、エヘン。

酒

「サア〳〵來たぞ〳〵五の字の口說でトウ〳〵一德利サゲ込みと云ふ奴さ、構ふことはねへ此威勢で年を越してやろう、何の人ッ金錢構はずに春は來ラア。

莨

「サアシマッタ」肝心の莨が粉ばかりになつた、粉ばかりながら散財ながら鶴印一玉ハヅメ〳〵、己れは錢がなくても煙草には入りあげる奴よ、ドーレ買ひ出しに行かふ。

酒

「ホウ……イヽ心持ちだな、奇妙〳〵酒といふ愛敬ものにカヽッては苦勞なしだ、ドーレモウ一本買ッて來よう。

莨

「アヽ難有山の飛び切りと云ふ奴を買ッて來た、サア何にしろ一ぷくヤッて見ようかね、奇妙〳〵此勢ひで來年の名案を考へだそうよ、ドーレモウ一ぷく。

酒

「ヤレ〳〵又來たぞ〳〵現金でなへからコリヤア注ぎが惡い、チョッ忌いましい奴だ兎も角も一ぱい飲むとショウカ。

莨

「ホウ……イヽ香りだ、時に考へれば考へる程春より苦になるは今年の關所だ、四方から御拂らいがヤッて來るに違へねへが何うシャう、仕方が子エーマアー一ぷくやらかせ。

「夫れに春になると諸々からいろ〳〵散財筋を持ち込んで來るし、コレもウッチャッて置く譯けにも往くめへ、ソーカと云ふて金はなし、ドウ仕樣仕方が子ーマアー一ぷくやらかせ。

酒

「ナニ御拂ひだと、馬鹿アいへ手前の處の注ぎは惡いやア其瓶をミヤアがれ旦那……夫れは空瓶でございます、アタリめへよ拂らわないと云わねへから出直して來ヤアーがれ、ナンノ人ッ………

「ドーレモウ一杯ホウイヽ氣味だ、今から春の樣な

氣持ちになつた、サア面白くなつて來たぞ

貰

「考へれば考へる程心配で堪まらない、併しモウ一ぷく………

酒

ヤレばヤル程面白く成つて堪らないドーレモウ一杯………

貰

「煙草屋の小僧が拂ひを取りに來たぞ、ハテ何うしやう逃げ出そうかしらん、イツソイデモウ一ぷく

酒

「アヽイヽ氣持ちだ只は寐られん

貰

「イツソ戸棚へ隱れるとしやうか

酒

「イツソ吉原へ繰り出そうか

貰

「アヽ南無妙法蓮陀佛〳〵

酒

「アヽ來たさのコリヤ〳〵

雜録

赤痢病治療法

左の一編は去月廿六日大日本衛生會に於て醫學博士北里柴三郎君（大阪に於ける赤痢病原の探究）と云へる演説より其治療法に關する一節を抽き同會雜誌の附錄として配布されたる者なるが有益のもの故茲に轉載す、

赤痢患者の糞便中より始めてアミヨーベを見出し、赤痢の病原には非ざるかとの疑を起したるロシェ氏は、硫酸キニーチの下等動物を殺すに有力なるを以て、試みに之を赤痢患者に灌腸したるに果してアミヨーベは一時に減少して患者も大に快復するに至

れり、爾來赤痢に硫酸キニーチの灌腸療治法は追々試用する者あるに至れり、現に米國ボルチモーの大學に於ては此灌腸療治法にて良治績を取れりと云ふ、余も本年歸朝の途次同所に至り親しく患者に就て之を實驗したることあるを以て、今回大阪に於て此法を十一人の新患者に試みたり、其用量は米國邊にては普通一プロセントの硫酸キニーチ溶解液にして余も最初は此量を用ひしが、患者の苦痛甚しきが、故に半プロセントに止め一回に其溶液三百瓦(即ち一回の硫酸キニーチ量一、五瓦)を一日二回及至三回灌腸し數日間繼續せり、其成績は僅少の患者に試みたるとなれば直に判斷を下すと能はざれども、余が親しく治療したるもの十一人の內初期のもの五人は三四日にして大に快復し、中期のもの四人は一週間內外にて快復し、末期のもの一人は漸々快復に赴き、僅かに只一人のみ中途キニーチの灌腸を止めたるもの終に死亡せり、抑も赤痢は其初は結腸を侵して潰腸を生じ追々上進して遂に潑腸に達するが故に、凡そ三四週間を經過せるものは灌腸も服藥も共に其効なきは一たび赤痢の屍体を剖觀せるものは果して其然るを知らん、故に此灌腸法は初期殊に早ければ早き程好都合なるは亦辨を要せざるなり、一体硫酸キニーチは下等動物を滅殺するに殊に劇烈なる効力を有するが故に、顯微鏡下に於て其溶液をアミヨーベに注げば僅少時間にて死滅するとは既に實驗を經たるとにして、果してアミヨーベが赤痢病原ならんには此療法は大に適合せるものと云ふべし。

最も此に注意すべきは灌腸の方法なり、普通の灌腸の如く看病人等に放任せず研究せんとする醫師必ず之を親らし、殊に赤痢患者の肛門は括約筋弛緩して大に弛開せるが故に、藥液注入の際側らより流出

せざる樣注意すべし、又注入したる後其儘に置けば藥液は直に流出し去るべし、故に注入後は直に肛門を押へ五分乃至十分間患者の堪へ得る間は注意して藥液の流出を防ぐべし、又硫酸キニーネは冷水には悉くは溶解せざるもキニーネの腸に入りて潰腸面に附着し易からしむる爲め寧ろ冷水に溶したる不溶解のものを可なりとす。

開業醫諸君中赤痢患者に臨みるときは、希くは此硫酸キニーネの灌腸法を試みられんことを望む、幸に此方法にして好成績を得るに至らば從來久しく不明に屬せし赤痢の治療に一新法を得たるものと謂ふべし

衛生上統計の必要

衛生上統計を用ゆることに就きましては皆さんも御存じでもありましょうが、私が考へました事だけ鳥渡御話し致したいと思ひます、統計と申すことはつゝいてはかると書きますから誠に必要なものと考へて居ります

本邦は僅かに小なる邦でありますが、外國は本邦より大へんに土地も人口も澤山あります、本邦の小なるものと外國の大なるものと比較しますると、我邦の土地は小でも人口が澤山あると云ふ事が統計上分明である、又此の大切なる處の統計といふものがなければ是等の事實が分明にならない、其であるから一日も忽せにすべからざる者と云ふ事が明亮になッて來ます。又衛生と云ふ事も甚だ進歩して參りました、人口の調査の如き即ち出産死亡是れを大別すれば是非とも統計を造らなければならぬ、尤も今まは區役所か或は警察署などに出來てあるかはしりませんではありませんがなにしろ造なければならぬ。何處になんの病氣が流行するとかと云ふ場合に至ッて、其前より造り置きし統計書を出して見すると、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

安心の出來るのも豫防の準備しなければならぬのも皆な此の統計が口述の代理をすると云ふ便利なる者です、ソノ外か色々コレガ必要の者も澤山ありますけれども茲には略します先づ一番わかり易きものは歷史であります、是等の事柄も此の統計より引出すと能くわかります、其れですから前述の通り統計と云ふものは實に重寶な便利な者と云ふて可なりと信じますから、御婦人方に於ても家中の事を此の統計書を造ッて毎日落なく記して御覧なさひ思ひの外面白く又後に參考にもなります。

廿四年の人口の調査及び一寸した現住戸數の統計を造りても左の通り分ます、たゞしこま〳〵したる處を拔きて大略を示します、第一に全國の男子の數が（二千〇五十六万三千四百十六人）同女子の數が（二千〇十五万五千二百六十一人）（合計四千〇七十一万八千六百七十七人になります現住戸數が合計（七百八十万六千三百六十九戸であります第二は年齡別人口でありますけれど、是れも前同樣にこまこまは拔きます、男子一歲より百八歲までが（二千〇五十六万三千四百十六人）女子が一歲より百八歲まで（二千〇十五万五千二百六十一人）になります、右の人口と第一年齡別第二と合計が必ず合ます、希くは皆さんなにゝよらず造ッて御試しなされまし。

衛生局長任命

内務省技師後藤新平氏は今度轉任せられ荒川内務省衛生局長の後任を命せられたり

傳染病研究所

大日本私立衛生會に於ては傳染病研究所を東京芝區公園第五號三番地に設け醫學博士北里柴三郎氏を所長となし開設せられ本會へも左の案内狀を贈られたり

大日本私立衛生會は夙に

帝室の殊恩に浴し且同志の賛成を得て以て今日の隆運を來せり殊に斯事委員北里柴三郎最終の留學期に於ては特殊の　恩賜を拜戴せるか爲め本會は將來益々力を國家に盡さゝる可らさるの責を有せり故に今後之に關し國費を以て完全なる設備の整ふに至るまて暫く其端を此に啓かんとを希ひ本會に於て傳染病研究所を設立せり但し事創業に屬し素より完全を期し難しと雖も御一覽の榮を得ば幸慶の至に存候乃ち來る十二月三日午後一時を期し御繰合せ御貴臨之程希望仕候此段御案內申上候也

明治廿五年十二月一日

傳染病研究所長醫學博士　北里柴三郎

大日本私立衛生會副會頭　長與專齋

私立大日本婦人衛生會殿

コレラは郵便に傳らず

有名なるコッホ氏は虎列刺病は信書又は新聞紙に付着して傳染することなし故に如何なる流行地より來る者も受信者は危險を感ずる勿れ云々と明かに述べられしといふ

禽獸蟲魚の齡

最近の統計集誌の掲載する處を見るに禽獸の年齡各々差ありてカナリヤ鳥二十四年、鴨四十年、鵝鳥八十年、鷲百年、鸚鵡二百年、白鳥三百年、家兎七年、野兎八年、栗鼠七年、羊十年、猢猻十六年乃至十八年、猫十五年、狐十五年、狼二十年、鹿二十年、牝牛二十年、牡牛三十年、熊二十年、羚羊二十五年、犀二十年、虎二十五年、馬三十年、驢馬三十年、豚二十五年、海狸五十年、赤鹿五十年、獅七十年、駱駝百年、鰐百年、象四百年、鯨千年、蜜蜂六ケ月、雌蜂三年、雄蜂六年、鯉七十年乃至百五十年、大口魚十四年乃至十七年、鰻十年、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

餘十六年なりと

輝藥

輝藥にウエンチル氏は左方を用ふ

綠石鹼一分　復方安息香丁幾四分　偏里設林八分
薔薇水十六分

右混和して塗り付くれば治癒すべしと云ふ

藁灰繃帶

灰の消毒に効用あることを發見せしより、陸軍省は軍醫監等をして調査せしめたるに、此程藁も亦消毒に偉効あることを發見し、藁灰の水を繃帶に浸して實驗したるに頗る好結果を得たるにぞ、自今同部內にては一般に藁灰繃帶を使用することゝなり、且行軍の際各兵の携帶せる繃帶をも藁灰繃帶に改める筈なりと。

衛生の進歩か

近來鷄卵の需要頓に增加して內地の產卵にては不足を告ぐるに至りしと、今其筋の調査によれば、本邦產卵の總數は二億二千百十九個にして、支那朝鮮等より輸入せる昨年の金額は、實に三萬三千四百四十二圓に登ると聞く

醫科大學の產科往診

醫科大學第一醫院にては、爾今東京市內に限り產婦の往診依賴に應ずることに定めたりといふ

本會錄事

十二月例會

十二月三日(第一土曜日)午後一時より京橋區宗十郎町七番地大日本私立衛生會集會に於て本會本年の納會を開く醫學博士宮下俊吉君(學齡兒の眼病に就て)學齡兒の多く起す腺病性の眼炎及近視遠視の症狀豫防法等を縷述せられ次に醫學士伊東祐彥君(牛乳に

就て）小兒保育法即ち自然營養人工營養法の利害及びコンデンスミルク等撰用の良否に就て演說せられ終って午後五時散會せしが當日の來會者は三十餘名なりき

寄送書籍

榊順次郎氏著

一脚氣病と米穀との原因上關係（二百九十五頁）

併同附圖（最美製）

右は榊順次郎氏より特に本會に寄附せられたるものなり氏は明治十六年十二月以降醫科大學第一醫院産科婦人科に奉職せられたるが偶々明治二十一年の暑夏に際し姙婦及び産婦の脚氣病に罹れる者數名相踵で産科病室に入院せしにより氏は特に注意して之を撿査し頗る詳密なる記事を得たりと然るに當時未だ姙婦産婦の脚氣病に就き先哲の細論せしものあるを見ず仍て氏は此の數症の實驗に基き其蘊奥の學理を究めんと欲し餘暇あれば則ち脚氣科病室に至り同科擔當醫諸氏と脚氣一般の病狀を視察し或は之を徵諸に求め又は先哲の諸報告を萃め編述の腹稿略々具はりたるが。氏意らく脚氣病論に至りては未だ一定の確說なく先哲唱道する處の諸說皆不滿足の感なき能はざるを以て病床上の記述は暫く止め先づ其原因に溯りて之を究明せんに如ずとの槪念を起され氏は諸般の觀察により脚氣病の原因する處は蓋し米に在るならんとの宿說を懷かれ多年勤續せし職を辭し前後殆んど四年間幾多の時間、勞力及び費用を犧牲に供し非常の困難と忍耐との辛勞を積まれ今回始めて其大體を結了せられたるを以て之を世に公にせられたるが是迄脚氣病因の不正確なりしも、此冊子出づるに及び其瞑朦を排し醫學社會に一大光輝を添へられたる一大良書にして日本橋馬喰町一丁目の島村利助より發兌せり

入會者

本月中入會せられたる會員宿所姓名左の如し

◎會員小幡せつ子の紹介により

本郷第一醫院　菊岡さい子

仝　井丸きよ子

◎幹事中野悦子の紹介により

麹町區元園町一丁目廿七番地　特別會員　高崎歌子

淺草區三好町五番地　通常會員　篠原よし子

深川區西森下町一番地　仝　高橋かよ子

芝西久保葺手町八番地　仝　伊東ゆう子

◎幹事加藤つね子の紹介により

京橋區釆女町十二番地　通常會員　堀越科子

麹町上二番町二番地　仝　河村幸子

麹町區元園町二丁目六番地　仝　李家みやこ子

◎事務所へ申込により

麹町區五番町十二番地　通常會員　大舘組緒子

◎會員安藝つね子の紹介により

本郷第一醫院　澁川たみ子

仝　小池きよ子

仝　小林すゞ子

◎評議員宮本樂子の紹介により

下谷中根岸町四番地　通常會員　岡倉重戸子

◎幹事村岡久野子の紹介より

神田東福田町壹番地　三浦しゑ子

轉居

北豊島郡日暮里村字金杉村千二百八十六番地へ　高橋清子

福嶋縣福島町通四の十三番地へ　高橋登茂子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎動植物性營養衛試驗成績

東京衛生試驗所技手平野猪之助君の施行せし動植物性營養品の分拆成績は左の如し但し魚類は鱗腸骨頭を除き肉のみを試驗したるものなりと云ふ(官報)

第一 動物性營養品 百分中の成分を示す

品名	水分	蛋白質	脂肪	灰分
アコウ	八一、五一五	一七、一三五	〇、三七五	〇、九七五
帶魚	七一、七六五	一九、八四一	七、〇六四	一、三三〇
イナダ	七六、七五〇	二〇、八九九	一、一〇一	一、二五〇
鯔(ボラ)	七二、六〇〇	二一、九六八	四、二六七	一、一六五
ギンポ	七七、一八五	一八、二五九	三、〇五六	一、五〇〇
牛尾魚(コチ)	七八、八八五	一九、六六七	〇、三三六	一、一一三
アナゴ	八一、五一〇	一六、七三〇	〇、五九五	一、一六五
海鰻(ハモ)	八〇、〇七五	一七、一四三	一、五七五	一、〇二五
河豚(フグ)	七九、七七五	一八、七四一	〇、二五九	一、二二五
黄鮎魚(アカエヒ)	七七、三二五	二一、四五三	〇、二九七	一、二二五
田螺(タニシ)	七五、七六六	一九、一〇二	〇、五四七	四、五八五
西施舍(ミルクヒ)	七九、二三〇	一六、六九〇	二、六二五	一、四五五
貝ノ柱(カイハシラ)	八〇、三七〇	一八、〇九〇	〇、二二〇	一、三二〇
糠蝦(ノミ)	七七、六八〇	一六、二七八	三、二七五	二、七六七
青花魚(サバ)鹹醃	七五、〇〇〇	一六、一〇〇	二、八七〇	六、〇三〇
文鰩魚(トビウヲ)同	六六、三三五	二三、四六六	〇、五三九	九、六六〇
鹹魚(サンマ)同	五六、七五〇	二八、七〇九	六、五九一	七、九五〇
鱒(マス)同	四六、二五〇	三四、一四〇	三、九八五	一五、六二五
鰛魚(イハシ)	六三、六五〇	二二、四四六	五、六七九	八、二二五
田作(ゴマメ)	一三、六八四	六九、二五一	一一、七五六	五、三〇九
鰕魚尾(ハゼ)佃煮	三六、七五〇	三八、八二〇	三、七三〇	二〇、七〇〇
海鼠腸(コノワタ)	七二、四九〇	八、八三六	二、六八七	一五、九八七
ハンペン	七七、一六〇	六、六一六	〇、三三〇 無窒素物 一三、七四九	二、一二五

第二 植物性營養品 百分中の成分を示す

品名	水分	含窒素物	脂肪	無窒越幾斯物	木纖維	灰分
鶉豆(ウヅラマメ)	一四、五七〇	一八、九〇〇	一、一六〇	五七、七五〇	六、四六〇	一、一六〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

燕麥	一〇、四〇四	一三、五三七	四、一八〇	六六、九一九	四、一六〇	一、八〇〇
蜀黍	一三、一〇〇	一〇、五〇〇	三、六二〇	六六、三九〇	六、二六〇	〇、一一〇
玉蜀黍	一五、〇五〇	九、四五〇	三、五二四	六六、六五六	三、〇八〇	二、二四〇
蜀苡薏	一三、七四〇	一三、六五〇	五、三八〇	六四、九四〇	三、一七〇	〇、一二〇
麻實	九、九八六	二一、一七五	二四、五六〇	一三、九〇六	二九、三二八	二、〇四五
菊花	八六、六四五	一、九二六	〇、〇三七	八、七九九	二、五四二	〇、〇五二
紫蘇卷唐辛	六四、〇九〇	二、八八七	〇、九七一	六、六三七	三、四三〇	二一、九八五
酢漬薤	八五、九〇〇	〇、九三七	〇、〇七六	七、八五六	〇、三二五	四、九〇四
塩漬生姜	七五、二二五	〇、七八七	〇、三一九	一三、五八〇	二、〇八九	八、〇〇〇
塩漬李	八〇、八三五	〇、〇五七	〇、〇六三	五、七九五	二、五一五	一〇、七三五
塩漬梅	七〇、七二五	〇、〇七九	〇、一八三	八、九四八	一、六一五	一八、四五〇
粕漬白瓜	七二、二二〇	二、六五〇	〇、〇四三	一八、七九六	〇、七〇五	五、五九一
味噌漬大根	六二、〇三〇	六、一四〇	〇、一九〇	一六、五二〇	二、二三〇	一三、九〇〇
醴(軟煉)	六三、〇七〇	三、五〇〇	——	三二、三九二	〇、七五三	〇、二八五
生揚	七八、六六〇	一〇、二八〇	八、二〇〇	二、〇三〇	——	〇、八三〇
貫錢麩	一三、五九〇	二五、八八〇	一、五一〇	五八、五一〇	——	一、五一〇
昆布卷	六七、五一〇	二、六七〇	〇、一八	二四、九二〇		四、七三〇

品名	水	含窒素物	無窒素物	細胞質	脂肪	灰
蕪菁	九四、〇〇	一、〇三	二、八三	〇、七一	〇、〇七	〇、七八
牛蒡	七〇、五三	一、三六	二三、一三	二、一八	〇、〇七	〇、六三
葱	九二、六三	一、四七	四、三三	一、〇六	〇、〇七	〇、四四
百合	六九、六三	三、三四	二四、一五	一、四二	〇、一一	一、三五
茄子	九四、〇〇	一、〇〇	三、一一	一、四一	〇、〇六	〇、四二
南瓜	九〇、二四	〇、六五	六、〇八	二、一五	〇、一三	〇、七五
青芋	八五、二〇	一、四〇	一一、七〇	〇、六五	〇、〇八	〇、九九
蓮根	八五、三九	一、七〇	一〇、八六	〇、八四	〇、〇八	一、一三
麥蕎	六八、九〇	四、六九	二四、五〇	〇、四三	〇、九七	〇、五一

東京下谷區練塀町四十三番地
發行所　私立大日本婦人衛生會
東京麹町區三番町六十七番地
編輯兼發行人　嚴本善治
東京麹町區上二番町四十四番地
印刷人　八木吉六